

放射性物質分析・研究施設第 1 棟工事現場における断熱材の飛散について

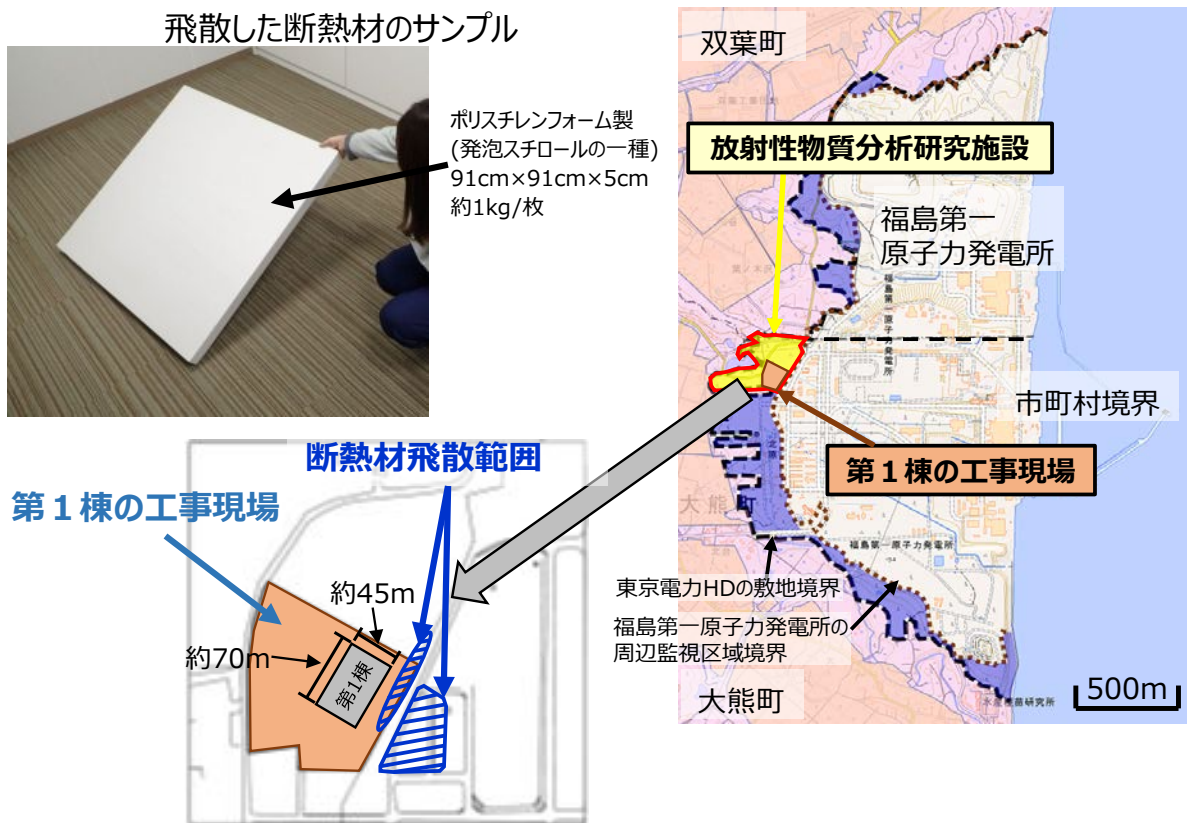
放射性物質分析・研究施設第 1 棟の工事現場において発生した標記の件についてお知らせいたします。

令和 2 年 3 月 20 日(金)午前 6 時 35 分頃に、放射性物質分析・研究施設第 1 棟工事において建屋屋上に保管していた断熱材（発泡スチロールの一種、約 1,100 枚）の一部（約 350 枚）が、強風により飛散防止ネットが外れ、飛散しているのを発見しました。断熱材は、第 1 棟の東側（第 1 棟工事現場及び福島第一原子力発電所の構内）に飛散していました。これを受けて、屋上に残っていた断熱材を速やかに屋内に移動しました。その後、飛散した断熱材はすべて回収しました。

本件による人や設備への影響はありませんでした。

今後類似の事象が発生しないよう、再発防止（軽量物は屋上に置かない等）を徹底の上、安全最優先に第 1 棟の建設作業を進めて参ります。

<第1棟工事現場の場所と断熱材の飛散範囲>



以上